募集句入選作品（一般部門）

福本　弘明　選

マカロンの色を揃えて春隣　岐阜県　富田泰仁
いわし雲たまに大物まぎれてる　岐阜県　可児隼規
被災者に届くブラウス春隣　大分県　岸本恵美
スイカ切る言いたいことはちゃんと言う　埼玉県　緑加
鉄棒の錆びし匂ひや赤蜻蛉　千葉県　悠悠
枯葉にも個性のありて反り返る　群馬県　落合久美子
練切の餡透けてゐるころもがへ　東京都　藤色葉菜
花万朶だれもすべらぬすべり台　東京都　森田秋津
故郷のアンテナ高し麦の秋　さいたま市　高岩雪枝

小川　軽舟　選

病室の母と二人の花見かな　東京都　目黒琴音
やみそうな雨を歩いて春惜しむ　東京都　諸星千綾
風光る祖父母を前に逆上がり　群馬県　金子歩美
仕事終へ飲むコーヒーや春北斗　群馬県　木下美樹枝
元騎手へ駆け寄る老馬牧開　福井県　雛
雨過ぎて歩く街並み風薫る　大阪市　小西秀輝
藤の実の下にサラリーマンの昼　東京都　實重万葉子
朝寒や母の畑のもぐら塚　愛媛県　森清香
句集など並べて薫風のフリマ　東京都　加那屋こあ

成田　一子　選

文学や五月の海が眩しくて　東京都　加那屋こあ
星涼し鳩まんまるに眠らせて　愛媛県　奈良香里
魔法とかなくても梨を分け合えば　埼玉県　梅頭ぱせを
だむだむと怒りのピザをのばす春　熊本市　須藤進乃助
練切の餡透けてゐるころもがへ　東京都　藤色葉菜
音が音壊して夏至の野外フェス　さいたま市　吉田孝子
白鳥やホテルは夜を膨らませ　横浜市　吉村洋子
ひとしきり泣いて真昼の春キャベツ　川崎市　こもりく
北窓を開くや明日転校す　東京都　野村由泯